

CASE.14

株式会社フタバ工研

現場の問題点をくみ上げ、生産性向上や意識改革につなげる



社屋外観

- 事業内容: 金属加工(切断・旋削加工)
- 代表者: 代表取締役社長 藤田 親 氏
- 本社所在地: 静岡県浜松市浜北区新原4383-1
- 創立年: 1977年
- 従業員数: 35名
- 認証レベル: エコステージ1 (2005年10月取得)

主な環境活動項目

- (1) 省エネルギーの推進
- (2) 省資源の推進
- (3) 廃棄物の低減
- (4) 地域貢献の推進

背景・課題

環境認証取得を契機に、徹底したムダ削減を追求

フタバ工研様は、静岡県を拠点に自動車用等速ジョイント部品の加工を行っているメーカーです。「常に挑戦者であり続ける」という経営基本方針のもと、以前からものづくりの様々な場面でカイゼン活動を推進してきました。取引先からの環境認証取得要請を機会に、エコステージを導入し、体制の構築に着手。PDCAの基本的な仕組みを取り入れ、効率的な活動を進めるとともに、ものづくり経験豊富なエコステージ評価員のアドバイスを得ながら、徹底したムダの削減を追求していきました。

活動内容

生産性向上にも目を向け、幅広い環境活動を展開

職場単位(事務所・プレス・切断・面取り・旋削の各グループ)で個々に取り組みテーマを決め、省エネや資源活用のみならず生産性向上も含めたテーマを取り上げ、毎日の成果の積み上げを図りました。主な活動内容としては、「電力使用の約3分の1を占める圧縮空気(コンプレッサ)の配管からのエアリーク撲滅」「正確な照度調査に基づく照明の適切化」「切削工具の有効利用による購入量削減」「製造工程の作業分析による段取り時間短縮」などです。また、従業員全員参加の「クリーン作戦」(会社周辺地域の清掃活動)にも力を入れ、路上だけでなく竹林や草むらのゴミ回収を定期的に行いました。

効果

工具使用量を3分の1に削減、従業員の環境意識も向上

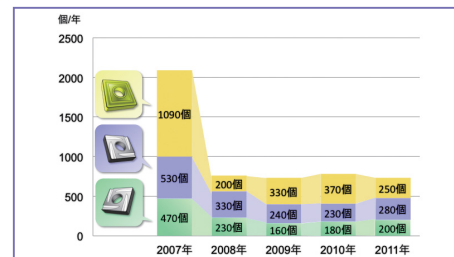
「エアリーク撲滅活動」では、漏れ量を損失額(漏れを修理しなかったと仮定した場合の額)として金額換算し、従業員の問題意識にも働きかけ、年間130万円以上の効果を上げています。さらに、切削工具の削減では、未使用のコーナーの再利用を徹底的に推進。活動スタートから3年で使用量を3分の1に減らしました。さらに最近では、面取り工程の段取り作業をビデオ撮影して作業分析することで、大幅な時間短縮を達成しています。また、職場のエコリーダーを毎年交代させ、エコ活動発表会を行い、環境レポートを発行。従業員の環境意識向上や、社内外のコミュニケーションの活発化を図っています。



■主要な加工内容と製品



■「エアリーク撲滅活動」の一環として、コンプレッサの配管修理を徹底



■主要切削工具の使用量推移

今後の計画

経営環境が一層厳しくなっていくことが懸念されるなか、廃棄物の徹底分別によりリサイクル率の拡大と産廃処理費用の負担軽減をさらに推し進めるとともに、様々なものづくりの中で作業分析に基づき効率化や生産性向上を深掘りし、一つひとつ着実に成果を積み上げていく予定です。

担当評価員からのメッセージ

エコステージ導入をきっかけに、様々な職場の問題を精力的に取り上げ、大きな成果があらわれています。その際、単に経営者や管理者主導の活動に留まらず、従業員の問題意識にも働きかけることにより、従業員が主体的に動く、地に足の着いた活動が行われています。